

新旧対照表

変 更 後	変 更 前
<p>1～3（略）</p> <p>4 地域再生計画の目標</p> <p>美作市は岡山県の北東部に位置し、北は鳥取県智頭町、東は兵庫県宍粟市、佐用町と接し、兵庫県との県境に岡山県で最も標高の高い後山(1,345m)がそびえ、地域の約8割が山林で覆われている。本市には、質の良い木材(みまさかヒノキ)や、県下の生産量を誇るお茶のほか、作州黒(黒大豆)、桃、ぶどう、いちごなどの特産品や、美作三湯の一つである湯郷温泉、剣豪・宮本武蔵の生誕地、キャンプ場(トム・ソーヤー冒険村)、農村型リゾート施設(能登香の里小房)など豊かな自然に囲まれた観光資源や、因幡街道・出雲街道といった歴史的史跡がある。</p> <p>しかし、全国的な人口減少の時代に入った今、本市においても人口減少が進行し、平成17年の国勢調査人口は、32,479人で、平成12年と比較して6%程度減少し、平成27年には約29,000人になると推計されている。地域産業である林業についても、後継者不足や林業基盤整備の遅れと近年の木材価格の低迷による収益性の低下により活力が低下し、山林の荒廃が進んでいる状況である。</p> <p>また、観光は本市を支える中核産業であり、地域の雇用や活性化に大きく貢献している。平成17年の観光地への入込み客数は152万人で、湯郷温泉を中心に毎年多くの人たちが訪れているが、宿泊数は平成12年の36万5千人から、平成17年には29万人に減少した。観光施設は市内各地に点在しており、これらの施設にアクセスする市道は、幅員が狭く屈曲していることから、利用者の通行に支障を来しており、交通障害箇所の解消が課題となっている。</p> <p>一方で現在、中国横断自動車道姫路鳥取線の整備が進められており、市内にある中国縦貫自動車道の2つのインターチェンジに加え、新たに大原インター(仮称)が整備される予定である。供用後は、山陰や京阪神・山陽地域との結びつきが一層強化され、相互の交流や物流が促進されることから、これらのインターチェンジから各地に点在する観光施設・イベント・文化施設を連絡する道路の交通障害箇所の解消と併せて、グリーンツーリズム振興などの施策の推進により、滞留性の高い周遊型観光への転換を図ることで、観光客の減少を抑制し、地域の活力の回復を図る。また、森林基盤の整備による木材の生産コストの縮減及び収益性の向上と、適正施業による優良林育成を推進し、「みまさかヒノキ」等の特産品の生産と物流の促進による地場産業の活性化を図る。</p>	<p>1～3（略）</p> <p>4 地域再生計画の目標</p> <p>美作市は岡山県の北東部に位置し、北は鳥取県智頭町、東は兵庫県宍粟市、佐用町と接し、兵庫県との県境に岡山県で最も標高の高い後山(1,345m)がそびえ、地域の約8割が山林で覆われている。本市には、質の良い木材(みまさかヒノキ)や、県下の生産量を誇るお茶のほか、作州黒(黒大豆)、桃、ぶどう、いちごなどの特産品や、美作三湯の一つである湯郷温泉、剣豪・宮本武蔵の生誕地、キャンプ場(トム・ソーヤー冒険村)、農村型リゾート施設(能登香の里小房)など豊かな自然に囲まれた観光資源や、因幡街道・出雲街道といった歴史的史跡がある。</p> <p>しかし、全国的な人口減少の時代に入った今、本市においても人口減少が進行し、平成17年の国勢調査人口は、32,479人で、平成12年と比較して6%程度減少し、平成27年には約29,000人になると推計されている。地域産業である林業についても、後継者不足や林業基盤整備の遅れと近年の木材価格の低迷による収益性の低下により活力が低下し、山林の荒廃が進んでいる状況である。</p> <p>また、観光は本市を支える中核産業であり、地域の雇用や活性化に大きく貢献している。平成17年の観光地への入込み客数は152万人で、湯郷温泉を中心に毎年多くの人たちが訪れているが、宿泊数は平成12年の36万5千人から、平成17年には29万人に減少した。観光施設は市内各地に点在しており、これらの施設にアクセスする市道は、幅員が狭く屈曲していることから、利用者の通行に支障を来しており、交通障害箇所の解消が課題となっている。</p> <p>一方で現在、中国横断自動車道姫路鳥取線の整備が進められており、市内にある中国縦貫自動車道の2つのインターチェンジに加え、新たに大原インター(仮称)が整備される予定である。供用後は、山陰や京阪神・山陽地域との結びつきが一層強化され、相互の交流や物流が促進されることから、これらのインターチェンジから各地に点在する観光施設・イベント・文化施設を連絡する道路の交通障害箇所の解消と併せて、グリーンツーリズム振興などの施策の推進により、滞留性の高い周遊型観光への転換を図ることで、観光客の減少を抑制し、地域の活力の回復を図る。また、森林基盤の整備による木材の生産コストの縮減及び収益性の向上と、適正施業による優良林育成を推進し、「みまさかヒノキ」等の特産品の生産と物流の促進による地場産業の活性化を図る。</p>

変 更 後	変 更 前
<p>さらに、平成18年に、「みまさかフィルムコミッション」が設立され、市在住の作家あさのあつこ氏原作の映画「バッテリー」のロケが行われたことで、全国的に広く美作市を発信することができ、新たな交流人口の確保が図られた。また、美作の国・賑わいのある田園都市特区(農家民宿等における濁酒の製造免許の要件緩和)の認定により、新たな特産品として広まっている「濁酒」を、地域の情報発信機能を有する「道の駅」等の直売所との連携により、市外に広く宣伝する。これにより新たな交流人口を確保し、入込み客の減少の抑制を図る。</p> <p>これらのインターチェンジや特区の有効活用による新たな交流人口の確保、木材の生産コストの縮減、交通障害箇所を解消を目標に、林道、各観光施設等を結ぶ市道を整備し、「賑わいのある田園観光都市づくり」を目指す。</p> <p>(目標1) 森林施業面積の増 <u>46ha→57ha</u></p> <p>(目標2) 交通障害箇所の解消 4箇所</p> <p>(目標3) 農産物直売所「道の駅」の平成18年入込み客数の現状維持 26万人</p> <p>5 目標を達成するために行う事業</p> <p>5-1 全体の概要 (略)</p> <p>5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業 道整備交付金を活用する事業 対象となる事業は、次のとおり事業開始に係る手続きを完了している。 なお、整備箇所については、別添の整備箇所を示した図面による。</p> <p>○市道 道路法に規定する市町村道に次のとおり認定。 壬生滝線 (昭和58年 3月19日道路認定) 田原吉田線 (平成 4年10月16日道路認定) 久賀長谷内線 (昭和59年 4月 1日道路認定)</p> <p>○林道 真象山線、青野野原線とも、森林法に規定する吉井川地域森林計画(平成20年度～29年度)に路線を記載。</p>	<p>さらに、平成18年に、「みまさかフィルムコミッション」が設立され、市在住の作家あさのあつこ氏原作の映画「バッテリー」のロケが行われたことで、全国的に広く美作市を発信することができ、新たな交流人口の確保が図られた。また、美作の国・賑わいのある田園都市特区(農家民宿等における濁酒の製造免許の要件緩和)の認定により、新たな特産品として広まっている「濁酒」を、地域の情報発信機能を有する「道の駅」等の直売所との連携により、市外に広く宣伝する。これにより新たな交流人口を確保し、入込み客の減少の抑制を図る。</p> <p>これらのインターチェンジや特区の有効活用による新たな交流人口の確保、木材の生産コストの縮減、交通障害箇所を解消を目標に、林道、各観光施設等を結ぶ市道を整備し、「賑わいのある田園観光都市づくり」を目指す。</p> <p>(目標1) 森林施業面積の増 <u>46ha→54ha</u></p> <p>(目標2) 交通障害箇所の解消 4箇所</p> <p>(目標3) 農産物直売所「道の駅」の平成18年入込み客数の現状維持 26万人</p> <p>5 目標を達成するために行う事業</p> <p>5-1 全体の概要 (略)</p> <p>5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業 道整備交付金を活用する事業 対象となる事業は、次のとおり事業開始に係る手続きを完了している。 なお、整備箇所については、別添の整備箇所を示した図面による。</p> <p>○市道 道路法に規定する市町村道に次のとおり認定。 壬生滝線 (昭和58年 3月19日道路認定) 田原吉田線 (平成 4年10月16日道路認定) 久賀長谷内線 (昭和59年 4月 1日道路認定)</p> <p>○林道 真象山線、青野野原線とも、森林法に規定する吉井川地域森林計画(平成20年度～29年度)に路線を記載。</p>

変 更 後	変 更 前
<p>[施設の種類(事業区域)、事業主体] ○市道 (美作市) 美作市 ○林道 (美作市) 美作市</p> <p>[事業期間] ○市道 (平成20年度～24年度) ○林道 (平成20年度～24年度)</p> <p>[整備量] ○市道 L=4.1km ○林道 L=3.6km</p> <p>[事業費] ◎総事業費 <u>1,390,320千円</u> (うち交付金695,160千円)</p> <p>○市道 1,050,000千円 (うち交付金525,000千円)</p> <p>○林道 <u>340,320千円</u> (うち交付金170,160千円)</p> <p>(以下略)</p>	<p>[施設の種類(事業区域)、事業主体] ○市道 (美作市) 美作市 ○林道 (美作市) 美作市</p> <p>[事業期間] ○市道 (平成20年度～24年度) ○林道 (平成20年度～24年度)</p> <p>[整備量] ○市道 L=4.1km ○林道 L=1.8km及び改良1箇所</p> <p>[事業費] ◎総事業費 <u>1,329,700千円</u> (うち交付金664,850千円)</p> <p>○市道 1,050,000千円 (うち交付金525,000千円)</p> <p>○林道 <u>279,700千円</u> (うち交付金139,850千円)</p> <p>(以下略)</p>